

大学情報データベースのデータ項目、定義等について（案）

大項目:組織・施設				組織対象レベル
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	
設置者	学校等の設置者たる法人の基本情報	設置区分	<国立> 国(国立大学法人、大学共同利用機関法人、高等専門学校機構) <公立> 地方自治体(都道府県、市町村、地方独立行政法人) <私立> 学校法人、企業等	大学
		設置者名(和文)	学校等を設置する法人の名称 国立大学の場合は、国立大学法人名、公立大学の場合は設置者である地方公共団体名又は公立大学法人名、私立大学の場合は、設置者である学校法人名	
		設置者名(英文)	「組織名称(和文)」の英文表記	
		設置者名(ひらがな)	「組織名称(和文)」のひらがなによる表記	
		郵便番号	組織の所在地の郵便番号。(7桁:000-0000)	
		都道府県	組織の所在都道府県地の都道府県	
		代表者名	代表者等は学校等を設置する法人の代表者、監事が義務的設置機関とされている場合は監事、業務執行機関である理事等、当該法人の役員の職氏名(国立大学法人の場合は学長、監事、理事の役職・氏名、私立大学の場合は設置主体たる学校法人の理事(代表権を有する者の役職・氏名)) なお、国や地方公共団体(公法人)が設置する学校等の場合は記述等不要とする。	
		所在地(和文)	所在地は学校等を設置する法人の本部又は主たる事務所の所在地。	
		所在地(英文)	「所在地(和文)」の英文表記	
		電話番号	代表電話番号。(国番号-市外局番-市内局番-加入者番号) ただし、国内における電話番号は、国番号を省略できるものとする。	
		FAX番号	代表FAX番号。(国番号-市外局番-市内局番-加入者番号) ただし、国内における電話FAX番号は、国番号を省略できるものとする。	
		URL	当該設置者のホームページ(トップページ)へのURL(Uniform Resource Locator)。	
		目的	学校等を設置する法人の目的 学校等を設置する法人の定款等の根本規則に明記されている目的、国や地方公共団体等の場合は当該学校等の設置の根拠となる条例等に定める事項とする。	
		業務範囲	学校等を設置する法人の業務の範囲。 学校等を設置する法人の定款等の根本規則に明記されている業務、国や地方公共団体等の場合は当該学校等の設置の根拠となる条例等に定める事項とする。	
		設置学校等	設置する学校等の名称	
		組織	学校等を構成する組織の基本情報。 <第1層>(学校等の種類区分) 大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関、その他の学校等 <第2層>(第1層を構成する常例的教育研究組織) 学部、研究科、専攻科、別科、事務局、附属図書館、大学附置研究所、学内共同教育研究施設、全国共同利用研究所、大学附置共同利用施設、学環、学府 <第3層>(第2層を構成する教育研究組織又は第2層に附属する組織) 学科、専攻、附属病院、附属実習施設、附属学校、実験・工作施設等、附置研究所等の研究部門、附属図書館分館 <第4層>(第3層を構成する組織) 学科目、講座、診療科	
組織区分	各階層の組織等の種類をによる区別 <第1層> 大学、短期大学、大学院大学、大学共同利用機関、高等専門学校、大専校 <第2層> 学部、研究科、専攻科、別科、事務局(学長の監督の下に庶務、会計、施設及び学生の厚生補導等に関する事務を処理する組織をいい、第2層以下の事務を処理する組織を除く)、附属図書館、全国共同利用研究所、大学附置研究所、大学附置共同利用施設、学内共同教育研究施設、学環、学府 <第3層> 学科、専攻、附属病院、附属実習施設、附属学校、実験・工作施設等、附置研究所等の研究部門、附属図書館分館 <第4層> 学科目、講座、診療科			
代表者名	第1～3層までの各組織の代表者の役職名及び氏名。 大学は学長、学部は学部長が該当する。			
組織名称(和文)	定款等の根本規則にある組織の正式名称。			
組織名称(英文)	組織の英語正式名称。			
組織名称(ひらがな)	「組織名称(和文)」のひらがなによる表記。			
組織設置目的	組織が設置された目的。			
郵便番号	組織の所在地の郵便番号。(7桁:000-0000) 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。			
都道府県	組織の所在都道府県地の都道府県。 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。			
所在地(和文)	組織の所在地の日本語表記。 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。			

大項目:組織・施設				組織対象 レベル
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	
		所在地(英文)	組織の所在地の英語表記 所在地は当該組織の長が所在する場所とする。	
		電話番号	組織の代表電話番号。(国番号-市外局番-市内局番-加入者番号) ただし、国内における電話番号は、国番号を省略できるものとする。	
		FAX番号	組織の代表FAX番号。(国番号-市外局番-市内局番-加入者番号) ただし、国内における電話FAX番号は、国番号を省略できるものとする。	
		URL	当該組織のホームページ(トップページ)へのURL(Uniform Resource Locator)。	
		設置年月日	組織の設置年月日。	
		廃止年月日	組織の廃止年月日。	
		期間始	組織改編により当該組織が上位組織の下位組織となった年月日	
		期間終	組織改編により当該組織が上位組織の下位組織でなくなった年月日	
		教育研究分野名	大学評価・学位授与機構の定める教育研究分野。	
		改編年月日	組織改編が実施された年月日。(改編後の組織設置年月日に同じ)	
		改編等内容	新設・統廃合・改編等の概要。	
土地	各組織が占有する土地の基本情報。 機構側へは調査年度ごとに大学レベルで取りまとめたデータを提出。	用地区分	用地の区分	大学
		所在地	組織が保有する土地の所在地。登記上の所在地を記入する。	
		面積	組織が占有する土地の面積(平方メートル、1平方メートル未満は四捨五入)。 建物の敷地面積には、周囲の庭園、空地、通路等の附属地を含める。 なお、校舎敷地、屋外運動場敷地等の隣接しているときは、その境界を明確にし、重複のないようにする。 土地面積の測定は、土地境界線内の水平投影面積を測る。土地境界線内の水平投影面積を測る。 (学校基本調査 より)	
建物	各組織が保有する建物の情報。 機構側へは調査年度ごとに第1層レベルで取りまとめたデータを提出。	建物区分	建物の区分。	大学
		建物構造	建物の構造。 (木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造、その他) 【木造】 外壁面又は屋根がモルタル塗でも、その建物の柱及び土台等が木造であれば木造とする。 【鉄筋コンクリート造】 鉄骨・鉄筋コンクリート造も含める。 【その他】 コンクリートブロック造、れん瓦造、石造のような組積造などであって、前記以外の構造のものを含める。 (学校基本調査 より)	
		建物用途	学校建物の利用用途を区別。 (校舎(講義室、演習室、実験・実習室、研究室、附属図書館、管理関係・その他)、講堂、体育施設、附属病院、附属研究所、附属研究施設、寄宿舎、その他) 【研究室】 教員の研究室。 【図書館】 校舎の一部を図書室としている場合も学校図書館の扱いをしていればその建物を含める。 【管理関係・その他】 学長室、応接室、事務室、学生集会所、食堂、倉庫、守衛室、配電室、ボイラー室、書庫、廊下、便所等。 【体育施設】 屋内体育館、武道場等。講堂と体育施設の場合は体育施設とする。 【附属病院】 1階と2階が病院で、3階は他の用途に充てられているような場合、その3階はそれぞれの用途とする。 【寄宿舎】 学生の寄宿舎及びそれに附属する建物を含める。 【その他】 山の家、合宿所、艇庫、セミナーハウス等いずれの用途に属さないもの。 講堂、体育施設、実験・実習室等のような特殊な構造を有する建物を改造し、恒久的に使用目的を変更した場合は、現在の使用状況とする。 ただし、臨時に他の用途に使用している建物は、本来の使用目的による用途とする。 (学校基本調査 より)	
		占有形態	建物の占有形態。 (出資、購入、寄付、賃貸、その他)	

大項目:組織・施設				組織対象 レベル
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	
		建築面積	建物の建築面積。(平方メートル、1平方メートル未満は四捨五入) [面積の測定方法] 各棟における、壁その他の区画の中心線で囲まれている部分の水平投射面積。 次の物は面積測定から除外し面積に含めない。 出窓(出窓の下に物入れ等が床面まであるものは除外する)、ひさし、アーケード、ぬれ縁の類、 壁(腰壁を除外する)で囲まれていない非常階段、 木造以外の建物で2階以上に設けられたバルコニー、 屋根のみで屋外的用途に供せられる部分、 講堂・屋内運動場の主室内に設けられた幅2メートル未満(壁面から突出し寸法)のギャラリーの類、 天井高又は床下高2メートル未満の中2階の類、 壁(腰壁を除く)のない吹き抜けの渡り廊下、 建物の外部に固着した内部の高さ2メートル未満の部分、 三方以上が壁(腰壁を除く)で囲まれていないピロティーの部分、 次の物は建物以外の工作物として取り扱う。 自転車置場(建物の内部を利用して設けられた自転車置場は除く)、 柱と屋根のみで壁(腰壁の類を除く)のない独立した構造物、 内部の高さが2メートル未満の独立した構造物、 屋外水泳プール、 あみ室 (学校基本調査 より)	
		延床面積	建物の延床面積。(平方メートル、1平方メートル未満は四捨五入) 「面積の測定方法」 建築面積に準ずる。	
		竣工年度	竣工した年度	
		大規模改修実施年度	調査時点における、最も近時に大規模改修を行った年度。	
		大規模改修内容	大規模改修の内容。	
		備考	当該建物に入っている施設等	
		教育課程	履修に関する属性の区分(昼夜の別、通学・非通学の別)。	
		昼夜別開講状況	開講時期を昼夜の別(昼夜開講制の実施状況、夜間において授業を行う学部・研究科の実施状況)により区分。 第1層において昼夜開講制(同一学部において昼間及び夜間の双方の時間帯において授業を行うことをいう。)を実施している場合は大学・大学院単位で、第2層において夜間において授業を行う学部・研究科を置	
		履修方法区分	履修の形態を授業方法(通学・通信・多様なメディアを高度に利用)による区分。	
		学期区分	1年間に授業を行う期間の分割状況・週数による区分。 * 週間:2(前期・後期) * 週間:前期期間:15週(4月第3週~)、後期:20週(9月第3週~)を見る	
学位	学校等が授与する学位の名称	学位名称	授与する学位の名称。 (修士(工学)、博士(医学)など)	学科・専攻
大型設備等集計	各組織が保有する大型設備・備品の整備状況。	大型設備等名	大型設備・備品を同定できる名前。	学部・研究科 (又は学科・専攻)
		設置年度	設置した年度	
		利用状況	大型設備・備品の延利用人数、延利用時間、資格取得者数	
		設備の特徴等	大型設備・備品の概要・利用目的などを自由記述で説明。	
附属図書館利用集計	附属図書館の利用状況。	員数	調査時点における、組織別、大型設備・備品名別の設備数量。	
		延床面積	図書館の延床面積(平方メートル)。 閲覧用スペース、書庫のスペース、事務管理用のスペースなどを含む。	
		収納可能冊数	書架に収納可能な冊数(冊)。 棚板延長より以下の計算式で求める。 「収納可能冊数 計算式」 棚板延長 ÷ 0.9 × 25(冊) (大学図書館実態調査 より)	
		総座席数	図書閲覧用の座席数。	
		個室座席数	図書閲覧用の座席数のうち、個室の座席数。	

大項目:組織・施設				組織対象 レベル
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	
		年間開館総日数	1年間に開館している総日数。	
		一般公開有無	図書館を学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)へ公開しているか否かを区別。公開とは、館内閲覧サービスを提供していることとし、館内の部分的な公開も含める。	
		専任職員数	専任職員数(司書含む)	
		司書数	司書数	
		非常勤職員数	非常勤職員数	
		学内貸出冊数	調査年度での、学内者(教員、職員、学生、研究員)への貸出冊数。	
		学外貸出冊数	調査年度での、学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)への貸出冊数。	
		図書(和漢書)冊数	調査時点での、図書(和漢書)の蔵書数(冊)。	
		図書(洋書)冊数	調査時点での、図書(洋書)の蔵書数(冊)。	
		学術雑誌(日本語)タイトル数	調査時点での、契約学術雑誌(日本語)タイトル数。	
		学術雑誌(外国語)タイトル数	調査時点での、契約学術雑誌(外国語)タイトル数。	
		視聴覚資料点数	調査時点での、視聴覚資料の保有(種類)数。 視聴覚資料には、マイクロフィルム、マイクロフィッシュ、カセットテープ、ビデオテープ、CD・LD・DVD、レコード、映像フィルム、スライド、CD-ROMなどを含む。	
		電子ジャーナル契約数	調査時点での、電子ジャーナルの契約(種類)数。	
		データベース契約数	調査時点での、各種データベースサービスの契約(種類)数。	
		学期中平日開館時間	学期中の平日の開館時間。	
		学期中平日閉館時間	学期中の平日の閉館時間。	
		学期中土曜日開館時間	学期中の土曜日の開館時間。	
		学期中土曜日閉館時間	学期中の土曜日の閉館時間。	
		学期中休日開館時間	学期中の休日の開館時間。	
		学期中休日閉館時間	学期中の休日の閉館時間。	
		学期外平日開館時間	学期外の平日の開館時間。 夏季、冬季、春季で開館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外平日閉館時間	学期外の平日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外土曜日開館時間	学期外の土曜日の開館時間。 夏季、冬季、春季で開館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外土曜日閉館時間	学期外の土曜日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外休日開館時間	学期外の休日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外休日閉館時間	学期外の休日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
保健センタ利用集計	学生・教員・職員に対して、定期健康診断や日常的に診療等を行っている施設(保健センタなど)の利用状況	延床面積	保健センタ等の施設の延床面積(平方メートル)。	
		健康相談等実施件数	調査年度における、学生、教職員に対する健康相談等の実施件数。 (診療行為も含む)	
		定期健康診断実施学生数	調査年度に、定期健康診断を実施した学生の人数。 一人の学生が複数回受診した場合には、一人として集計する。	
		定期健康診断実施教職員数	調査年度に、定期健康診断を実施した教職員の数。 一人の教員が複数回受診した場合には、一人として集計する。	
		医師・看護婦士等配置状況	医師・看護婦士等の配置状況 医師又は看護婦士の配置人数、勤務状況	
集計博物館等利用	各組織が保有する博物館や美術館等の利用状況。	延床面積	博物館等の施設の延床面積(平方メートル)。	
		歴史系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、歴史系資料の所蔵点数。 歴史、民族、考古等。	
		美術系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、美術系資料の所蔵点数。 古美術、西洋、東洋、近代等の美術品。	
		自然史系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、自然史系資料の所蔵点数。 地質、動物、植物など。	
		理工系資料所蔵点数	学術的に整理済みである、理工系資料の所蔵点数。 科学技術、天文、産業など。	
		動植物系資料所蔵点数		
		その他資料所蔵点数	学術的に整理されていない資料の所蔵点数。	
		施設特徴	施設の特徴を自由記述。	

大項目:組織・施設				組織対象 レベル
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	
		年間開館総日数	1年間に開館している総日数。	
		一般公開有無	施設を学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)へ公開しているか否かを区別。館内の部分的な公開も含める。	
		専任職員数	専任職員数(学芸員等含む)	
		学芸員等数	学芸員等数	
		非常勤職員数	非常勤職員数	
		学内者利用者数	学内者(教員、職員、学生、研究員)の利用(入館)者数。	
		学外者利用者数	学外者(一般市民、他大学学生・研究者、大学以外の研究者)の利用(入館)者数。	
		企画展示実施件数	企画展示の実施回数	
		展示替え件数	展示替えの実施回数	
		学期中平日開館時間	学期中の平日の開館時間。	
		学期中平日閉館時間	学期中の平日の閉館時間。	
		学期中土曜日開館時間	学期中の土曜日の開館時間。	
		学期中土曜日閉館時間	学期中の土曜日の閉館時間。	
		学期中休日開館時間	学期中の休日の開館時間。	
		学期中休日閉館時間	学期中の休日の閉館時間。	
		学期外平日開館時間	学期外の平日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外平日閉館時間	学期外の平日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外土曜日開館時間	学期外の土曜日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外土曜日閉館時間	学期外の土曜日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外休日開館時間	学期外の休日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外休日閉館時間	学期外の休日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
情報教育センタ利用集計	情報教育基盤の運用・管理を行っている全学の施設(情報教育センタなど)の利用状況。	総座席数	学生がコンピュータを利用できる座席の総数。	
		コンピュータ台数	学生が利用可能な状態にある情報教育用コンピュータの台数。 サーバ用途のコンピュータや、倉庫に保管されているなどの遊休状態のものは含めない。	
		ソフトウェア種類数	学生が利用可能な情報教育用のソフトウェアの種類の数。 当該組織がライセンス購入した教育用の商用ソフトウェアに限定し、OS、フリーソフト、独自に開発したソフトウェア等は除く。	
		利用登録者数	調査時点における、コンピュータの利用登録者数。	
		授業利用時間数	当該年度での授業での年間延べ利用時間数。 例えば、年間に2台の端末を100人がそれぞれ20時間利用した場合には、2x100x20 = 4000時間として集計	
		授業外利用時間数	当該年度での授業時間外の年間延べ利用時間数。	
		学期中平日開館時間	学期中の平日の開館時間。	
		学期中平日閉館時間	学期中の平日の閉館時間。	
		学期中土曜日開館時間	学期中の土曜日の開館時間。	
		学期中土曜日閉館時間	学期中の土曜日の閉館時間。	
		学期中休日開館時間	学期中の休日の開館時間。	
		学期中休日閉館時間	学期中の休日の閉館時間。	
		学期外平日開館時間	学期外の平日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外平日閉館時間	学期外の平日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外土曜日開館時間	学期外の土曜日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外土曜日閉館時間	学期外の土曜日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外休日開館時間	学期外の休日の開館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	
		学期外休日閉館時間	学期外の休日の閉館時間。 夏季、冬季、春季で閉館時間が異なる場合には、それぞれ記入する。	

大項目:組織・施設				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
寄宿舎利用集計	各組織が保有する寄宿舎の利用状況。	寄宿舎等名称	寄宿舎等の名称。	
		単身・世帯用区分	単身用か世帯用かによる区分。	
		部屋面積	調査時点における、寄宿舎の1部屋当たりの平均床面積(平方メートル)。	
		定員	調査時点における、寄宿舎へ入寮可能な定員。	
		申請者数	調査年度の、寄宿舎への新規入寮申請者数。	
その他施設利用集計	附属図書館、保健センタ、情報教育センタ、寄宿舎、博物館、美術館等以外の、各種施設(共同教育研究施設、スポーツ施設など)の利用状況。	採択者数	調査年度の、寄宿舎への新規入寮者数。	
		施設概要	施設の概要を自由記述。	
		専任職員数	専任職員数	
講義室等利用集計	講義室等の整備状況。	非常勤職員数	非常勤職員数	大学
		講義室等区分	講義室等の区別。(講義室、演習室、実験・実習室、セミナー室、その他) 【講義室】 通常講義を行う教室。講堂も含む。 【演習室】 各種演習を行う教室や、言語教育用のLL教室、情報教育用の教室を含む。 準備室や前室も含む。 【実験・実習室】 各種実験・実習を行う教室。準備室や前室も含む。 【セミナー室】 専ら少人数での、研究指導やゼミを行うために用いる教室を指し、大学院生用の研究室等は含まない 【その他】 上記以外の学生の教育用途に使用される教室とし、教員用、事務・管理用、研究室などは除く。学生自習室やリフレッシュルームなどは含まれる。	
		収容人員区分	講義室等の収容人員による区分。 (20人未満、21～50人未満、51～100人未満、101～300人未満、301～500人未満、501～1000人未満、1001人以上) 演習室、実験・実習室で準備室や前室がある場合には、それらを含めた収容人員とする。	
		講義室等数	調査時点における、講義室区分別、収容人員区分別の室数。 演習室、実験・実習室で準備室や前室がある場合には、それらを含めて1室と集計する。	

大項目:学生・教職員				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
学生定員	各組織の学生の定員。	学生定員	組織別、年度別の学生の定員。 学生の定員は、当該年度入学の学生に対する、組織別の学生定員(男女込みの総数)とする。	学科・専攻
学生集計	各組織に所属する学生の集計情報。 学生数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在学中の学生を集計する。	年次区分	学生の年次による区分。 (1-6年次) 年次は原則として、入学年度を「1年次」とし、以後、休学、退学、転部・科又は当該年次における単位不足等特別の事情がない限り、「2年次」、「3年次」とする。なお、修業年限が4年の学部では、4年を超えて在学している者は、最高年次の「4年次」に含めて記入する。(5年、6年については4年に準ずる。)また、修業年限が2年の研究科では、2年を超えて在学している者は、最高年次の「2年次」に含めて記入する。 (学校基本調査より)	学科・専攻
		性別	学生の性別。 (男、女)	
		年齢区分	～17,18,19,20,21,22,23,24,25,26,27,28,29,30～34,35～39,40～44,45～49,50～54,55～59,60～	
		学生数	調査年度別、課程別、年次別、性別の学生数。 休学者、外国人留学生、社会人学生も含める。	
		留学生数	調査年度別、課程別、年次別、性別の学生数のうち、留学生数。 留学生とは、学校基本調査より	
		社会人数	調査年度別、課程別、年次別、性別の学生数のうち、社会人学生数。 社会人学生とは、学校基本調査による。	
科目等履修生等集計	各組織の科目等履修生等(科目等履修生、聴講生、研究生)の集計情報。 科目等履修生等数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において履修中の者を集計する。	性別	学生の性別。 (男、女)	学科・専攻
		科目等履修生等区分	科目等履修生等の区分。 (科目等履修生、聴講生(特別聴講生を含む)、研究生(特別研究生を含む)、その他) 【科目等履修生】 当該大学の学生以外の者で、特定の授業科目を履修する学生。 【聴講生】 当該大学の学生以外の者で、特定の授業科目を聴講する学生。学外の大学院に在学する学生で、授業科目を履修する特別聴講生も含む。 【研究生】 当該大学の学生以外の者で、特定の事項について考究する学生。学外の大学院に在学する学生で、当該組織において研究指導を受ける特別研究生も含む。 【その他】 上記のほか、当該大学の学生以外の者。	
		科目等履修生等数	調査年度別、課程別、性別の科目等履修生等数。 休学者も含める。	
研究員集計	各組織に所属する各種研究員の集計情報。 研究員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在籍中の研究員を集計する。	研究員区分	研究員の区分。 (受託研究員、共同研究員、博士研究員(日本学術振興会特別研究員)、博士研究員(その他)、博士課程(日本学術振興会特別研究員)、博士課程(その他)、その他の奨励金取得者、研修員) 【受託研究員】 民間企業、国の機関、地方公共団体等から現職の研究者や技術者を受け入れ、大学院レベルの研究の指導を行うもの 【共同研究員】 民間等との共同研究のために受入れた研究員 【博士研究員(日本学術振興会特別研究員)】 博士研究員であり、日本学術振興会特別研究員(PD、SPDなど)であるもの。但し、PDやSPDなどで博士研究員ではない研究員も含める。 【博士研究員(その他)】 博士研究員であり、日本学術振興会以外の競争的資金から経費が出ている、又はその他奨励金を取得しているもの。 【博士課程(日本学術振興会特別研究員)】 博士課程の研究員であり、日本学術振興会特別研究員(DC-1、DC-2など)であるもの。 【博士課程(その他)】 博士課程の研究員であり、日本学術振興会以外の競争的資金から経費が出ている、又はその他奨励金を取得しているもの。 【研修員等】 内地研究員、私学研修員、専修学校研修員、公立高等専門学校研修員、国立大学研修員、教員研修センター研修員、中国医学研修生、国連大学派遣研究員、ユネスコ国際大学院研修講座研修生などの各種研修員のうち、主に研究目的で受入れている者、教育目的で受入れている研修員は除く。	学部・研究科
		性別	研究員の性別。 (男、女)	
		研究員数	組織別、調査年度別、研究員区分別、年齢別、性別の研究員数。 外国人研究員も含める。	
		外国人研究員数	研究員数のうち外国人の研究員数。	

大項目:学生・教職員				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
本務教員年齢別集計	各組織に所属する本務教員(学校教育法上の教授、助教授、講師、助手をいう)の年齢区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。 本務教員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の教員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している教員をいう。 なお、一人の教員の本務先は一つの組織とし、複数の本務先は持たない各組織に所属する本務教員の当該大学での在職年数区分別の集計情報。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		年齢区分	教員の満年齢による区分。 (25歳未満、25～35歳未満、35～45歳未満、45～55歳未満、55～65歳未満、65歳以上)	
		性別	教員の性別。	
		教員数	所属組織別、役職別、年齢区分別、性別の本務教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、年齢区分別、性別の本務教員数のうち、外国人の教員数。	
本務教員在職年数別集計	各組織に所属する本務教員の当該大学での在職年数区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		在職年数区分	教員の当該大学での在職年数の区分。 (4年未満、5～10年未満、10～20年未満、20～30年未満、30～40年未満、40年以上)	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、調査年度別、役職別、在職年数別、性別の本務教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員も含む。	
		外国人教員数	所属組織別、調査年度別、役職別、在職年数別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	
本務教員国籍別集計	各組織に所属する本務教員の国籍別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		国籍	教員の出身国(国籍)。	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		外国人教員数	所属組織別、調査年度別、役職別、国籍別、性別の外国人の本務教員数。	
		外国人教員人数	所属組織別、調査年度別、役職別、国籍別、性別の外国人の本務教員数。	
本務教員取得学位別集計	各組織に所属する本務教員の取得学位区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		取得学位区分(最上位)	当該組織の本務教員が取得した学位による区分。 (学士、修士、博士、法務博士、準学士、無し) 複数の学位を持つ場合は、最上位の学位とする。 また、外国の学位の場合には、最も該当するものとする。	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、役職別、取得学位別、性別の本務教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、取得学位別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	
本務教員専門分野別集計	各組織に所属する本務教員の専門分野別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		専門分野	教員の専門分野(教育研究分野)。 大学評価学位授与機構の定める分野とする。	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、役職別、専門分野別、性別の教員数。 教員が複数の専門分野を持つ場合は、最も専門としている一つの分野に限定し、重複して集計しない。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、専門分野別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	
本務教員学外経験別集計	各組織に所属する本務教員の学外経験区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		学外経験区分	教員の学外での経歴による区分。(他大学・共同利用機構(5年未満、5年以上)、国立あるいは公立の機関(5年未満、5年以上)、民間等(5年未満、5年以上)) [国立あるいは公立の機関] 国立研究所、独立行政法人、公設試、その他公的な研究機関(国際機関含む)など	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、役職別、経歴区分別、性別の教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、経歴区分別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	

大項目:学生・教職員				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
本務教員前歴別集計	各組織に所属する本務教員の前歴区分別集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。 前歴とは、現在の本務先の役職に就任する直前の本務先である。 例えば、自大学の助教授から教授に昇進した教員の前歴は、「自大学/助教授」となる。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		前歴区分	教員の前歴による区分。 (自大学・大学共同利用機関等(教授、助教授、講師、助手、学生、その他)、他大学・大学共同利用機関等(教授、助教授、講師、助手、学生、その他)、国立あるいは公立の機関、民間等) 【国立あるいは公立の機関】 国立研究所、独立行政法人、公設試験研究機関、その他公的な研究機関(国際機関含む)など	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、役職別、前歴別、性別の教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、前歴別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	
		出身大学区分	教員の出身大学による区分。 自大学(学士、修士、博士、法務博士、準学士)、他大学(学士、修士、博士、法務博士、準学士)、その他 【自大学/博士】【他大学/博士】 学位を授与されずに、博士課程を満期修了したものも含む。 【その他】 最終学歴が高等学校卒業であるものなど。	
本務教員出身大学等別集計	各組織に所属する本務教員の出身大学区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		出身大学区分	教員の出身大学による区分。 自大学(学士、修士、博士、法務博士、準学士)、他大学(学士、修士、博士、法務博士、準学士)、その他 【自大学/博士】【他大学/博士】 学位を授与されずに、博士課程を満期修了したものも含む。 【その他】 最終学歴が高等学校卒業であるものなど。	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、役職別、出身大学別、性別の教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、取得学位別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	
		転入出区分	転入が転出かによる区分。	
本務教員転入出集計	各組織に所属する本務教員の転入出状況。 教員数は、調査年度において転入出した教員の増減人数を集計する。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		転入出区分	転入が転出かによる区分。	
		転入元・転出先区分	転入元、転出先による区分。 (自大学の他組織、他大学・大学共同利用機関、国立あるいは公立の機関、民間等、その他) 【国立あるいは公立の機関】 国立研究所、独立行政法人、公設試、その他公的な研究機関(国際機関含む)など	
		性別	教員の性別。 (男、女)	
		教員数	所属組織別、役職別、転入出区分別、性別の教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、役職別、転入出区分別、性別の本務教員数のうち外国人の教員数。	
学内兼務教員年齢別集計	各組織に所属する学内兼務教員の年齢区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。 学内兼務教員とは、学内の別組織に本務先があり、当該組織を兼務している教員をいう。但し、兼務先において講義のみを行っている場合には、「非常勤講師」とする。 なお、一人の教員は複数の兼務先を持つことを認める。	役職区分	教員の役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)	学部・研究科
		年齢区分	教員の満年齢による区分。 (25歳未満、25～35歳未満、35～45歳未満、45～55歳未満、55～65歳未満、65歳以上)	
		性別	教員の性別 (男、女)	
		教員数	所属組織別、調査年度別、役職別、年齢別、性別の学内兼務の教員数。 教員数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員も含める。	
		外国人教員数	所属組織別、調査年度別、役職別、年齢区分別、性別の学内兼務教員のうち外国人の教員数。	
		本務先役職区分	非常勤講師の本務先での役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手、その他) 本務先が民間等の場合には、役職は「その他」となる。	
非常勤講師本務先別集計	各組織に所属する非常勤講師の本務先区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。 非常勤講師とは、学内又は学外(他大学や民間等)に本務先があり、当該組織に兼務として勤務し、講義のみを行う教員をいう。	本務先役職区分	非常勤講師の本務先での役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手、その他) 本務先が民間等の場合には、役職は「その他」となる。	学部・研究科
		本務先区分	非常勤講師の本務先による区分。 (学内、他大学・研究機関、民間等)	
		性別	非常勤講師の性別。 (男、女)	

大項目:学生・教職員							
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル			
	講義以外の教育研究活動に従事する者は「客員教員」に含め、非常勤講師には含めない。	教員数	所属組織別、本務先役職別、本務先区分別、性別の非常勤講師数。 非常勤講師数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員も教員人数に含める。				
客員教員本務先別集計	各組織に所属する客員教員の本務先区分別の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。 客員教員とは、学外(他大学や民間等)に本務先があり、当該組織に兼務として勤務し、教育研究活動に従事している者をいう。但し、講義のみを行う教員については、「非常勤講師」に含め、客員教員には含めない。各組織に所属する研究指導教員の集計情報。	外国人教員数	所属組織別、本務先区分別、性別の非常勤講師数のうち外国人の講師数。	学部・研究科			
		役職区分	教員の当該組織での役職による区分。				
		本務先区分	客員教員の本務先とその役職による区分。 (他大学・研究機関(教授、助教授、講師、助手、その他)、民間等、その他)				
		性別	教員の性別。 (男、女)				
		教員数	所属組織別、役職別、性別、本務先区分別の客員教員数。 客員教員人数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員を含める。				
研究指導教員集計	各組織に所属する研究指導教員の集計情報。 教員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の教員を集計する。	外国人教員数	所属組織別、役職別、性別、本務先区分別の客員教員のうち、外国人の教員数。	学科・専攻			
		役職区分	教員の当該組織での役職による区分。 (教授、助教授、講師、助手)				
		研究指導教員数	所属組織別、役職別の研究指導教員数。 研究指導教員数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人教員も教員人数に含める。				
職員集計	各組織に所属する職員(学校教育法上の教員以外の事務職員、技術職員、その他職員をいう)の集計情報。 職員数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職中の職員を集計する。	外国人研究指導教員数	所属組織別、役職別の研究指導教員数のうち外国人の教員数。	大学			
		職種区分	職員の職種による区分。 (事務系、技術技能系、医療系、教務系、その他) 【事務系】 庶務、会計、人事、施設等の事務に従事している者をいい、学部、研究室等に勤務していても事務に従事している者、図書職員で司書の職務に従事している者、技術、技能系に関する職務に従事しているが、直接的に教育研究活動に関与していない者を含む。 【技術技能系】 専ら教育研究を直接的に支援しており、学生の実験、実習、実技若しくは演習の指導や、研究実験等の補助をしている者。 技術、技能に関する職務に従事している者であっても、教育研究活動に直接的に関与しない管理業務に従事するものは、「事務・教務・施設系」とする。 【医療系】 学生の健康管理の業務に従事している医師(教員は除く)、看護師、准看護師、助産師、薬剤師、栄養士並びに附属病院等に勤務する前記の職務に従事する者及びマッサージ、はり、あん摩、診療放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士等。 【教務系】 学生の実験、実習、実技若しくは演習の指導をしている者などで、教員でない者。 【その他】 上記以外の者で、守衛、巡視、用務員、労務作業員、調理師等の業務に従事している者。				
		勤務形態区分	職員の勤務形態を表す区分。 (常勤、非常勤) 【常勤】 常勤職員とは、当該組織の長又はその設置者から正規の職員としての辞令を受け、当該組織の定める就業規則に従い常勤的に勤務している職員をいう。 【非常勤】 非常勤職員とは、常勤以外の職員であり、臨時職員やアルバイト等を含む。但し、調査時点において1年以上連続的に勤務する(予定も含む)者のみを含む。				
		年齢区分	職員の満年齢による区分。 (20歳未満、20～30歳未満、30～40歳未満、40～50歳未満、50～60歳未満、60歳以上)				
		性別	職員の性別。 (男、女)				
		職員数	所属組織別、職種別、勤務形態別、年齢区分別、性別の職員数。 職員数には、外国留学中等の者、休職中の者、及び外国人職員も含むが、学内兼務の職員(当該組織以外に本務先のある職員)は除く。				
		資格区分	資格の区別(国家資格・業務独占資格、国家資格・名称独占資格、公的資格、民間資格)。				
		資格取得職員数	組織別、資格区分別の調査時点での資格を有する職員数。				
		職員資格集計	各組織に所属する職員の資格取得状況。		資格区分	資格の区別(国家資格・業務独占資格、国家資格・名称独占資格、公的資格、民間資格)。	大学
					資格取得職員数	組織別、資格区分別の調査時点での資格を有する職員数。	

大項目: 学生募集				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
入学定員	各組織の入学区分別の募集定員。	入試区分	入学試験の区別。 (一般1回目、一般2回目、一般3回目、一般4回目、一般5回目以上、外国学校出身者特別選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜、AO、推薦(公募)、推薦(指定校)、附属校、飛び級、その他) 【AO(アドミッションオフィス)】 一芸一能入試を含める。	学科・専攻
		入学定員	課程別、年度別、入試区分別の募集定員。 募集定員が確定していない場合には、目安となる人数を記入する。 例えば、「10名程度」であれば、「10名」とし、「若干名」であれば、「3名」などとする。	
入試集計	各組織の学部、研究科の入試区分別の入学試験実施状況の集計情報。	入試区分	入学試験の区別。 (一般1回目、一般2回目、一般3回目、一般4回目、一般5回目以上、外国学校出身者特別選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜、AO、推薦(公募)、推薦(指定校)、附属校、飛び級、その他)	学科・専攻
		性別	入試に志願、受験、合格および入学した者の性別。 (男、女)	
		募集定員		
		志願者数	年度別、入試区分別、課程別、性別の志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。	
		受験者数	年度別、入試区分別、課程別、性別の受験者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数受験した場合も、それぞれの集計に含める。	
		合格者数	年度別、入試区分別、課程別、性別の合格者数。	
		入学者数	年度別、入試区分別、課程別、性別の入学者数。	
学部入試都道府県別集計	各組織の学部入学試験実施状況の出身高校の所在地都道府県別での集計情報。	出身学校所在地都道府県	受験者の直前の学歴(主に高等学校)の学校所在地都道府県。 所在地が国外の場合は、「その他」とする。	学科・専攻
		性別	入試に志願、受験、合格および入学した者の性別。 (男、女)	
		志願者数	年度別、課程別、出身学校所在地都道府県別、性別の志願者数。	
		受験者数	年度別、課程別、出身学校所在地都道府県別、性別の受験者数。	
		合格者数	年度別、課程別、出身学校所在地都道府県別、性別の合格者数。	
		入学者数	年度別、課程別、出身学校所在地都道府県別、性別の入学者数。	
学部入試前歴別集計	各組織の学部入学試験実施状況の前歴別での集計情報。 前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。	性別	入試に志願、受験、合格および入学した者の性別。 (男、女)	学科
		前歴区分	入試に志願、受験、合格および入学した者の前歴を区別。 (T)年度高等学校卒業、(T-1)年度高等学校卒業、(T-2)年度高等学校卒業、(T-3)年度高等学校卒業、(T-4)年度以前高等学校卒業、外国学校卒業、在外教育施設課程修了、文部科学大臣指定者、大学検定、飛び級、その他) 【外国学校卒業】 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずるもので文部科学大臣の指定したものの。 【在外教育施設修了】 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者。 【文部科学大臣指定者】 文部科学大臣の指定した者 【大学検定】 大学入学資格検定期程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格したもの 【飛び級】 大学において、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められたもの。	
		志願者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。	
		受験者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の受験者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数受験した場合も、それぞれの集計に含める。	
		合格者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の合格者数。	
		入学者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の入学者数。	
大学院入試前歴別集計	各組織の大学院入学試験実施状況の前歴別での集計情報。	性別	入試に志願、受験、合格および入学した者の性別。 (男、女)	専攻

大項目: 学生募集				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
	前歴とは、当該組織の受験資格を得た経歴をいう。	前歴区分	入試に志願、受験、合格および入学した者の前歴を区別。 (当該大学卒業、他大学卒業(国立、公立、私立)、NIAD-UE学位授与、外国学校修了、外国学校通信課程修了、文部科学大臣指定者、飛び級、個別入学審査、その他) [当該大学卒業] 当該大学を卒業・修了した者。 [他大学卒業(国立、公立、私立)] 他の大学(国立、公立、私立)を卒業・修了した者。 [NIAD-UE学位授与] 大学評価・学位授与機構により学位を授与された者。 [外国学校修了] 外国において、学校教育における16年(医学、歯学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者。 [外国学校通信課程修了] 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年(医学、歯学又は獣医学を履修する博士課程への入学については18年)の課程を修了した者。 [文部科学大臣指定者] 文部科学大臣の指定した者 [個別入学審査] 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと、22歳(医学、医学又は獣医学を履修する博士課程への入学については24歳)に達したものの。 [飛び級(当該大学、他大学)] 大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めたと。 [その他] 上記以外の者。	
		志願者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の志願者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数志願した場合も、それぞれの集計に含める。	
		受験者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の受験者数。 同じ組織に対して、異なる入試区分で複数受験した場合も、それぞれの集計に含める。	
		合格者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の合格者数。	
		入学者数	年度別、課程別、性別、前歴区分別の入学者数。	
社会人入試集計	各組織で実施した社会人向けの入学試験(社会人特別選抜など)実施状況の業種別の集計情報。	職種/業種区分	社会人学生の現在(又は直前の勤務先の業種を区別)。 (農林漁業、鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療・福祉、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されないもの)、分類不能の産業) 日本標準産業分類の大分類	学科・専攻
		性別	社会人学生の性別。 (男、女)	
		入学者数	調査年度別、課程別、業種別、性別の社会人学生数。 休学者、外国人学生も含める。	
編入学者集計	各組織(学部)での編入学実施状況の集計情報。	編入元区分	当該組織に編入した学生の編入元を区別。 (大学、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程))	学科・専攻
		編入年次	編入先での年次。(編入した年次) (2年次、3年次)	
		性別	編入した学生の性別。 (男、女)	
		編入者数	年度別、課程別、編入元別、編入年次別、性別の編入者数。	

大項目:教育プログラム				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
教育プログラム	各組織で実施されている教育プログラムの情報。	教育プログラム名	教育プログラムの名称。	大学 学部・研究科 学科・専攻
		教育プログラム概要	教育プログラムの概要や特徴を記述。	
		卒業修了単位数	卒業(修了)に必要な単位の合計数。	
		取得可能資格	教育プログラムにより取得可能な資格と、資格取得に必要な条件を記述。	
		対象学生入学年度	当該卒業修了要件の対象となる学生の入学年度。	
		教養(必修)単位数	一般教養科目のうち、卒業・修了認定に必修となる科目の総単位数。	
		教養(選択必修)単位数	一般教養科目のうち、指定された科目群の中から履修科目を選択する方式で取得する事が求められる単位の総数。	
		教養(選択)単位数	卒業・修了認定に必要となる一般教養科目の単位数のうち、必修・選択必修以外の科目の総単位数。	
		専門基礎(必修)単位数	専門基礎科目のうち、卒業・修了認定に必修となる科目の総単位数。	
		専門基礎(選択必修)単位数	専門基礎科目のうち、指定された科目群の中から履修科目を選択する方式で取得する事が求められる単位の総数。	
		専門基礎(選択)単位数	卒業・修了認定に必要となる専門基礎科目の単位数のうち、必修・選択必修以外の科目の総単位数。	
		専門(必修)単位数	専門科目のうち、卒業・修了認定に必修となる科目の総単位数。	
		専門(選択必修)単位数	専門科目のうち、指定された科目群の中から履修科目を選択する方式で取得する事が求められる単位の総数。	
		専門(選択)単位数	卒業・修了認定に必要となる専門科目の単位数のうち、必修・選択必修以外の科目の総単位数。	
対象学生入学年度	当該教育プログラム構成の対象となる学生の入学年度。			
授業科目名	教育プログラムを構成する授業科目の名称。			
教養・専門基礎・専門区分	科目が当該教育プログラムにおいて教養か専門基礎か専門であるかを区別。			
必修・選択必修・選択区分	授業科目が本当該教育プログラムにおいて必修であるか選択必修であるか選択であるかを区別。			
授業科目(組織)	調査年度において開講されている授業科目を、授業科目を提供している組織単位で取りまとめたリスト。 全学共通科目として提供している授業については、全学共通科目を提供している組織又は大学単位で取りまとめる。 学部・研究科の共通科目として提供している授業については、学部・研究科単位で取りまとめる。 学科・専攻で提供している授業については、学科・研究科単位で取りまとめる。	授業科目名	科目の名称。	大学 学部・研究科 学科・専攻
		単位数	受講完了時に取得可能な単位数。	
		セメスター・学期	授業が開講されるセメスターまたは学期	
		対象年次	科目の対象とする年次。	
		授業総時間数	科目の総授業時間数。	
		授業科目区分	科目の種類を区別。 (学部教育、大学院教育、教職教育、共通教育系科目、専門教育系科目、語学など。)	
		授業科目形態	科目の授業形態を区別。 (通常講義、演習、実験、実技、特別講義、インターンシップ、スクーリングなど)	
		主とする使用言語	科目にて主に使用する言語。	
		開講曜日	授業開講曜日	
		開講時限	授業開講時限	
		定員	科目の受講(履修)定員。	
		授業概要・計画・評価方法	授業概要、授業計画、評価方法(試験やレポートなどの比率)などを記述。	
		履修者区分	科目の名称。	
		履修登録者数	当該授業の履修者が、授業を開講している組織に所属する学生であるか、それ以外の学生であるかを区別。	
成績L1人数	組織別(履修学生が所属している組織)、年度別、授業科目別、プログラム対象区分別の履修申請(希望)者数。			
成績L2人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L2の取得者数。			
成績L3人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L3の取得者数。			
成績L4人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L4の取得者数。			
成績L5人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L5の取得者数。			
成績集計	各組織が開講する授業の成績情報。 成績の区分は、L1、L2、L3、L4、L5の5段階とする。 L5を不合格者とする。 L1~L4を合格者とし、成績により4つ以内の段階に配分する。 以下に配分の例を示す。 [優、良、可、不可の成績判定を行っている場合]	履修者区分	当該授業の履修者が、授業を開講している組織に所属する学生であるか、それ以外の学生であるかを区別。	大学 学部・研究科 学科・専攻
		履修登録者数	組織別(履修学生が所属している組織)、年度別、授業科目別、プログラム対象区分別の履修申請(希望)者数。	
		成績L1人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L1の取得者数。	
		成績L2人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L2の取得者数。	
		成績L3人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L3の取得者数。	
		成績L4人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L4の取得者数。	
		成績L5人数	年度別、授業別、履修者区分別の成績L5の取得者数。	

大項目は教.活動				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
学位授与集計	各組織が授与した学位(学士、修士、課程博士、論文博士等)の集計情報。	性別 学士授与件数 修士授与件数 課程博士授与件数(標準修業年限内) 課程博士授与件数(標準修業年限超過) 論文博士授与件数 法務博士授与件数 準学士授与件数	学位を取得した学生の性別。 (男、女) 年度別、課程別、性別、専攻分野別の学士の学位授与件数。 年度別、課程別、性別、専攻分野別の修士の学位授与件数。 年度別、課程別、性別、専攻分野別の、標準修業年限内の学生に対して、課程博士学位を授与した件数。 年度別、課程別、性別、専攻分野別の、標準修業年限を超過している学生に対して、課程博士学位を授与した件数。 年度別、課程別、性別、専攻分野別の論文博士の学位授与件数。 年度別、課程別、性別、専攻分野別の法務博士の学位授与件数。 年度別、課程別、性別、専攻分野別の準学士の称号授与件数。	学科・専攻
休学者集計	各組織の休学中の学生の集計情報。 休学者とは、休学届けを提出し、承認された者とし、調査時点において休学中である学生とする。	性別 年次区分 休学者数	休学者の性別。 (男、女) 休学者の調査時点における年次による区分。 休学中に年次が上がる場合には、休学した年次ではなく、調査時点での年次とする。 調査時点における、年度別、課程別、性別、年次別の休学者の人数。	学科・専攻
復学者集計	各組織の復学した学生の集計情報。	留学者数 性別 年次区分 復学者数	上記中、留学を理由とする者の人数。 復学した学生の性別。 (男、女) 学生が復学した年次。 年度別、課程別、性別、年次別の復学者数。 (休学から復学した学生数)	学科・専攻
退学者集計	各組織の退学した学生の集計情報。	性別 年次 退学者数	退学した学生の性別。 (男、女) 退学時の年次。 年度別、課程別、性別、年次別の退学者数。	学科・専攻
転部転科者集計	各組織の転学部(研究科)、転学科(専攻)した学生の集計情報。	性別 年次 転出転部者数 転入転部者数 転出転科者数 転入転科者数	転部転科した学生の性別。 (男、女) 転部又は転科した年次。 年度別、課程別、年次別、性別の転学部(研究科)者数。(当該組織から他学部(研究科)への転出) 年度別、課程別、年次別、性別の転学部(研究科)者数。(他学部(研究科)から当該組織への転入) 年度別、課程別、年次別、性別の転学科(専攻)者数。(当該組織から自学部他学科(専攻)への転出) 年度別、課程別、年次別、性別の転学科(専攻)者数。(自学部他学科(専攻)から当該組織への転入)	学科・専攻
留年者集計	各組織の留年した学生の集計情報。	性別 年次区分 留年者数 外国人留年者数 社会人留年者数	留年した学生の性別。 (男、女) 留年した年次。 (「3」の場合は、3年次から4年次へ進級できなかったことを示す。4年を超えて卒業しなかった人は「4」。)) 年度別、課程別、性別、年次別の学生の留年者数。 留年者数のうち、外国人学生数。 留年者数のうち、社会人学生数。	学科・専攻
取得資格等集計	各組織の学生が取得した各種資格等(国家資格、公的資格など)の集計情報。	集計取得資格等ID 課程ID 資格等名 性別 在学者・卒業修了者受験者数 在学者・卒業修了者合格者数 その他合格者数	調査対象となる課程ID。 取得した資格等(国家資格、公的資格など)。 収集する資格等は機構が別途選定する代表的な資格等に限定する。 (司法試験、国家公務員種、医師、薬剤師、歯科医師、獣医師、看護師、一級建築士、高等学校教諭(一種、専修)、中学校教諭、小学校教諭、幼稚園教諭 など) 資格等を取得した学生の性別。 (男、女) 在学者又は当該年度の卒業・修了者の中で、受験した学生数。 在学者又は当該年度の卒業・修了者の中で、資格等を取得した学生数。 年度別、課程別、資格等別、性別の、当該年度以前の卒業・修了者で、資格等を取得した人数。 自大学の複数の組織を卒業・修了している者は、最終学歴の組織で集計する。	学部・研究科
卒業生入学年度別集計	各組織での入学年度別の卒業(修了)者数。	性別 入学年度 卒業修了者数	卒業(修了)した学生の性別。 (男、女) 卒業(修了)した学生が入学した年度。 年度別、課程別、性別、入学年度別の卒業(修了)者数。	学科・専攻

大項目は教員活動				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
卒業生進路先別集計	各組織の卒業(修了)者の進路先別の集計情報。	進路先区分	<p>学生の進路先を表す区分。 <大区分> (進学・編入・再入学、就職・医員・研修医、一時的な仕事に就いた者、その他、不詳の者) 【就職】 博士研究員など給与を支給されている研究生も含める。 【その他】 就職の意思があるが就職できなかった者、家庭に入ったもの、国家資格取得のため就職しなかった者を含む。 【不詳の者】 調査不可能である者や卒業・修了後に死亡した者を含む。</p> <p><[進学・編入・再入学]の中区分> (自大学、他大学)</p> <p><「進学・編入・再入学」の小区分> (大学院研究科、大学学部、短期大学本科、専攻科、別科、その他(研究生等)) 【その他(研究生等)】 研究生などの正規学生以外で授業料を納めている者。</p>	学科・専攻
		性別	卒業した学生の性別。 (男、女)	
		卒業修了者数	卒業した学生の性別、性別の卒業(修了)者数。	
就職者集計	各組織を卒業・修了後に就職した学生の、産業(職業)別の集計情報。	性別	就職した学生の性別。 (男、女)	学科・専攻
		就職先(産業/職業)区分	<p>学生の就職先の業種(農林漁業、鉱業、建設業、製造業、電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、飲食店、宿泊業、医療・福祉、教育・研究・学習支援業、複合サービス事業、サービス業(他に分類されないもの)、公務(他に分類されないもの)、分類不能の産業) 日本標準産業分類の大分類</p> <p>医療・福祉、教育、学習支援業については、下記の職種で分類する。 <医療、福祉> (医師・歯科医師、獣医師、薬剤師、その他) <教育、研究、学習支援業> (初等中等教育教員、高等教育教員、各種学校教員、その他) 【その他】 博士研究員を含む。</p>	
		就職者数	年度別、課程別、産業・業種別の就職した学生数。	
集計TA・RA採用	各組織で採用したTA及びRAの集計情報。	性別	TA及びRA採用者の性別。 (男、女)	学部・研究科
		TA(修士課程)採用者数	年度別、組織別、性別の修士課程(博士前期課程)学生のTA採用者数。 当該年度で、1人の学生が複数回採用された場合には、1名として集計する。	
		TA(博士課程)採用者数	年度別、組織別、性別の博士課程(博士後期課程)学生のTA採用者数。 当該年度で、1人の学生が複数回採用された場合には、1名として集計する。	
		TA(修士課程)支給総額	年度別、組織別、性別の 修士課程(博士前期課程)TAの学生に支給した年間総金額。	
		TA(博士課程)支給総額	年度別、組織別、性別の 博士課程(博士後期課程)TAの学生に支給した年間総金額。	
		RA採用者数	年度別、組織別、性別のRA採用者数。 当該年度で、1人の学生が複数回採用された場合には、1名として集計する。	
		RA支給総額	年度別、組織別、性別の RAの学生に支給した年間総金額。	

大項目: 学生支援				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
入学料 授業料	課程別の入学料。 課程別の授業料。	入学料 年次 授業料 その他費用	組織別、調査年度別、課程別の入学料 年次。 調査年度における、課程別、年次別の年間の授業料。 調査年度における、課程別、年次別の、年間に学生が支払うその他費用の合計。 その他費用には、学内規程等により定められた費用であり、教育充実費、施設費、実習費などを含む。	学科・専攻(又は教育プログラム)
入学料免除実施集計	各組織の入学料免除実施状況の集計情報。	申請者数 一部(半額)免除者数 全額免除者数 免除総額	年度別、課程別の入学料免除の申請者数。 年度別、課程別の入学料の一部(半額)免除者数。 年度別、課程別の入学料の全額免除者数。 年度別、課程別の入学料免除額の年間の総合計額。 例えば、10万円の入学料を5名免除した場合には、50万円となる。	学科・専攻(又は教育プログラム)
授業料免除実施集計	各組織の授業料免除実施状況の集計情報。	授業料免除期間区分 申請者数 一部(半額)免除者数 全額免除者数 免除総額	授業料免除期間の区分(前期、後期)。 授業料免除期間が、前期、後期に分けられない場合には、免除の開始時期と期間によって、前期、後期に読み替えることとする。 年度別、課程別、授業料免除期間区分別の授業料免除の申請者数。 同じ学生が、当該免除期間内において複数回申請した場合にも、それぞれ集計に含めることとする。 年度別、課程別、授業料免除期間区分別の授業料の一部(半額)免除者数。 同じ学生が、当該免除期間内において複数回免除された場合にも、それぞれ集計に含めることとする。 年度別、課程別、授業料免除期間区分別の授業料の全額免除者数。 同じ学生が、当該免除期間内において複数回免除された場合にも、それぞれ集計に含めることとする。 年度別、課程別、授業料免除期間区分別の授業料免除額の総合計額。	学科・専攻(又は教育プログラム)
奨学金採用集計	各組織の各種奨学金採用状況の集計情報。	奨学金名称 奨学金区分 奨学金給付区分 申請者数 採用者数 支給総額	奨学金の名称。 (日本育英会第一種奨学金、日本育英会きぼう21プラン奨学金など) 奨学金の種類を区別。 (日本育英会、日本学術振興会、その他の国・政府機関、地方自治体、財団法人、民間、当該組織独自) 奨学金の給付形態を区別。 (貸与(無利息)、貸与(利息付)、給与) 年度別、課程別、奨学金別の奨学金申請者数。 日本育英会等の入学以前に採用されている者について、申請者数に含める。 年度別、課程別、奨学金別の奨学金採用者(受給者)数。 日本育英会等の入学以前に採用されている者について、採用者数に含める。 年度別、課程別、奨学金別の奨学金の年間総支給金額。 日本育英会等の入学以前に採用されている者についても、支給金額に含める。	学部・研究科

大項目:研究活動				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
論文(組織)	調査年度内において、教員(本務、客員)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(本務)が学術雑誌等に発表した論文を、その著者が本務として所属する組織単位で取りまとめたリスト、受理印刷中のものは含めるが、投稿中、査読中のものは除く。 また、著者が複数名の場合に、それぞれが所属する複数の組織から同じ論文が登録されることを認めることとする。	著者名(原文)	論文の著者名。	学部・研究科
		著者名(英文)	論文の著者名の英文表記。 姓(last name)、名(first name)及びミドルネームがある場合はミドルネームのイニシャルをこの順で記載し、姓と名との間にコンマを打ち、名とミドルネームのイニシャルとの間はスペースで区切る。 また姓はすべて大文字で記し、複数名を記入する場合は人名をセミコロンで区切る。 当該組織に所属する著者については、氏名の後に(*)を付与する。	
		共著形態	共著の形態による区分。 (学内単一組織、学内複数組織、学外組織) 【学内単一組織】 共著者の全員が、当該組織が主たる所属先である場合 【学内複数組織】 共著者の中に、当該大学等の他組織が主たる所属先である者が含まれる場合 【学外組織】 共著者の中に、当該大学等外が主たる所属先である者が含まれる場合	
		論文名(原文)	論文の題名 原文で入力する	
		論文名(英文)	論文題名(原文)の英文表記。 英文で記入する	
		掲載誌名	論文の掲載誌、会議録等の正式名称	
		巻・号・頁	論文が掲載されている掲載誌の巻、号、頁(開始頁 - 終了頁)	
		発行年	論文が掲載されている掲載誌等の発行年	
		論文分類	論文の種類による分類。 (学術論文、解説・総説、研究ノート、会議録、その他) 【その他】 雑誌等への論説の掲載なども含む	
		記述言語	論文の記述言語 (日本語、英語など)	
		査読有無 専門分野	論文の査読の有無による区別 論文に係る専門分野 専門分野は、科研費又はNIAD独自のコードを利用し、複数登録を可能とする	
		著書(組織)	調査年度内に刊行された、教員(本務、客員)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(本務)が著作した著書を、その著者が本務として所属する組織単位で取りまとめたリスト。 また、著者が複数名の場合に、それぞれが所属する複数の組織から同じ著書が登録されることを認めることとする。	
著書名(英文)	著書名(原文)の英文表記。			
共著形態	共著の形態による区分。 (学内単一組織、学内複数組織、学外組織) 【学内単一組織】 共著者の全員が、当該組織が主たる所属先である場合 【学内複数組織】 共著者の中に、当該大学等の他組織が主たる所属先である者が含まれる場合 【学外組織】 共著者の中に、当該大学等外が主たる所属先である者が含まれる場合			
著者名(原文)	著書の著者名。 カンマ区切りで複数名記入し、原文で記入する。 当該組織に所属する著者については、氏名の後に(*)を付与する。			
著者名(英文)	著者名(原文)の英文表記。 姓(last name)、名(first name)及びミドルネームがある場合はミドルネームのイニシャルをこの順で記載し、姓と名との間にコンマを打ち、名とミドルネームのイニシャルとの間はスペースで区切る。 また姓はすべて大文字で記し、複数名を記入する場合は人名をセミコロンで区切る。			
出版機関名	著書の出版機関(会社)名			
発行年月	著書の初版の発行年月			
著書分類	著書の種類による分類 (学術書、教科書、調査報告書、一般書、その他)			
著書形態	著書の形態による区分 (単著、共著、単訳、共訳、その他)			
執筆形態	当該組織内の著者の主な役割による区分。 (執筆、編集、分担執筆、共同編集、訳、共訳、監修、解説、その他)			
記述言語	著書の記述言語 (日本語、英語など)			
専門分野	著書に係る専門分野 専門分野は、科研費又はNIAD独自のコードを利用し、複数登録を可能とする			
研究発表(組織)	調査年度内において、教員(本務、客員)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(本務)の学会等学術会議での研究成果の発表を、その発表者が本務として所属する組織単位で取りまとめたリスト。 また、発表者が複数名の場合に、それぞれが所属する複数の組織から同じ受賞が登録されることを認めることとする。	発表者名(原文)	研究発表の発表者名 カンマ区切りで複数名記入する 原文で入力する 実際に発表を行っていない者も記入可能とする 当該組織に所属する発表者については、氏名の後に(*)を付与する	学部・研究科

大項目:研究活動				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
		発表者名(英文)	発表者名(原文)の英文名称。 姓(last name)、名(first name)及びミドルネームがある場合はミドルネームのイニシャルをこの順で記載し、姓と名との間にコンマを打ち、名とミドルネームのイニシャルとの間はスペースで区切る。 また姓はすべて大文字で記し、複数名を記入する場合は人名をセミコロンで区切る。 実際に発表を行っていない者も記入可能とする。 当該組織に所属する発表者については、氏名の後に(*)を付与する。	
		共同発表形態	共同発表の形態による区分。 〔学内単一組織、学内複数組織、学外組織〕 〔学内単一組織〕 実際に発表を行った者の全員が、当該組織が主たる所属先である場合 〔学内複数組織〕 実際に発表を行った者の中に、当該大学等の他組織が主たる所属先である者が含まれる場合 〔学外組織〕 実際に発表を行った者の中に、当該大学外が主たる所属先である者が含まれる場合	
		発表題名(原文)	研究発表の題名 原文で入力する 発表形態が「パネル」である場合には、未記入となる	
		発表題名(英文)	発表題名(原文)の英文名称。 英文で記入する 発表形態が「パネル」である場合には、未記入となる	
		発表会議名	研究発表を行った会議の名称	
		主催者名	研究発表を行った学術会議の主催者名 カンマ区切りで複数名記入する	
		開催場所	研究発表を行った会議の開催場所	
		発表年月	研究発表を行った年月 発表期間が月をまたがる場合には、期間の初日の月とする	
		国内・国際区分	研究発表を、国内の会議で行ったか、国際的会議で行ったかによる区分 (国内、国際)	
		発表形態	研究発表の発表形態による区分 (招待講演、一般講演、ポスター、パネル、その他) 〔パネル〕 議長等を含む	
		選考有無	研究発表に選考があるか無いかによる区別	
		発表言語	研究発表で主に使用した言語 (日本語、英語など)	
		専門分野	研究発表に関係する専門分野 専門分野は、科研費又はNIAD独自のコードを利用し、複数登録を可能とする	
芸術作品・技術製品等(組織)	調査年度内において、教員(本務、客員)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(本務)が創作、製作等を行い、対外的に発表した芸術作品や技術製品等を、その発表者が本務として所属する組織単位で取りまとめたり、発表者が複数名の場合に、それぞれが所属する複数の組織から同じ芸術作品等が登録されることを認めることとする。 芸術作品・技術製品等とは、論文、著書、受賞、特許以外の当該組織の教育研究活動の成果であり、芸術・美術品、建造物、技術製品、スポーツ等の記録などをいう。 発表により、なんらかの賞を授与された場合には、「受賞」にも登録する。	発表者名(原文)	芸術作品・技術製品等の発表者の氏名 カンマ区切りで複数名記入し、原文で記入する 当該組織に所属する発表者については、氏名の後に(*)を付与する	学部・研究科
		発表者名(英文)	芸術作品・技術製品等の発表者名(原文)の英文名称。 姓(last name)、名(first name)及びミドルネームがある場合はミドルネームのイニシャルをこの順で記載し、姓と名との間にコンマを打ち、名とミドルネームのイニシャルとの間はスペースで区切る。 また姓はすべて大文字で記し、複数名を記入する場合は人名をセミコロンで区切る。 当該組織に所属する発表者については、氏名の後に(*)を付与する。	
		芸術作品等名(原文)	芸術作品・技術製品等の名称 原文で記入する	
		芸術作品等名(英文)	芸術作品・技術製品等名(原文)の英文名称。 英文で記入する。	
		発表場所	芸術作品・技術製品等を発表した場所	
		設置場所	芸術作品・技術製品等が設置されている場所	
		発表年月	芸術作品・技術製品等を発表した年月 発表期間が月をまたがる場合には、期間の初日の月とする	
		共同発表形態	発表の形態による区分。 〔学内単一組織、学内複数組織、学外組織〕 〔学内単一組織〕 発表者の全員が、当該組織が主たる所属先である場合 〔学内複数組織〕 発表者の中に、当該大学等の他組織が主たる所属先である者が含まれる場合 〔学外組織〕 発表者の中に、当該大学等外が主たる所属先である者が含まれる場合	
		作品分類	芸術作品等の種類による分類 (技術製品(ハードウェア、ソフトウェア)、建造物、芸術・美術品、スポーツ等記録、その他)	
		専門分野	芸術作品・技術製品等に関係する専門分野。 専門分野は、科研費又はNIAD独自のコードを利用し、複数登録を可能とする。	

大項目:研究活動							
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル			
受賞(組織)	調査年度内において、教員(本務、客員)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(本務)が受賞した賞を、その受賞者が本務として所属する組織単位で取りまとめたリスト。 また、受賞者が複数名の場合に、それぞれが所属する複数の組織から同じ受賞が登録されることを認めることとする。 対象となる賞は、当該組織での教育研究活動に関係しており、国、地方公共団体、学協会、新聞社、財団、国際機関、外国政府等の学外組織から授与されたものとする。	受賞者名(原文)	受賞者の氏名 カンマ区切りで複数名記入し、原文で記入する 当該組織に所属する受賞者については、氏名の後に(*)を付与する	学部・研究科			
		受賞者名(英文)	受賞者名(原文)の英文名称。 姓(last name)、名(first name)及びミドルネームがある場合はミドルネームのイニシャルをこの順で記載し、姓と名との間にコンマを打ち、名とミドルネームのイニシャルとの間はスペースで区切る。 また姓はすべて大文字で記し、複数名を記入する場合は人名をセミコロンで区切る。 当該組織に所属する受賞者については、氏名の後に(*)を付与する。				
		受賞名(原文)	授与された賞の名称。 原文で記入する。				
		受賞名(英文)	受賞名(原文)の英文名称。 英文で記入する。				
		受賞の対象 授与機関名 共同受賞形態	受賞の対象となった業績の名称または概要を記入。 賞を授与した機関等の名称。 受賞の形態による区分。 (学内単一組織、学内複数組織、学外組織) [学内単一組織] 受賞者の全員が、当該組織が主たる所属先である場合 [学内複数組織] 受賞者の中に、当該大学等の他組織が主たる所属先である者が含まれる場合 [学外組織] 受賞者の中に、当該大学等外が主たる所属先である者が含まれる場合				
		受賞年月	受賞した年月				
		国内外区分	授与された賞が国内の賞であるか、国外の賞であるかによる区分 (国内、国外)				
		専門分野	受賞に関係する専門分野 専門分野は、科研費又はNIAD独自のコードを利用し、複数登録を可能とする				
		工業所有権(組織)	調査年度内において、教員(本務、客員)、学生、研究員(博士研究員、博士課程研究員)、職員(本務)が発明、考案し、出願または登録された工業所有権を、その発明者、考案者等が本務として所属する組織単位で取りまとめたリスト。 また、発明者等が複数名の場合に、それぞれが所属する複数の組織から同じ工業所有権が登録されることを認めることとする。 大学長等による出願だけでなく、企業や個人による出願も含む。 発明等をすにに至った行為が現在又は過去の職務に属する発明等のみを対象とする。		工業所有権区分	工業所有権の種類による区分。	学部・研究科
			出願番号		工業所有権の出願番号		
			出願年月日		工業所有権を出願した年月日		
			出願人区分		特許の出願人による区分。 (大学長等、TLO、研究者個人・JST、企業単独) 大学長等、TLO、研究者個人・JSTには、企業などとの共同出願も含む。		
	登録番号	工業所有権の登録番号 特許は「特許番号」					
	登録年月日	特許が登録された年月日。					
	発明等の名称(原文)	取得又は出願した工業所有権の名称 原文で記入する 特許は「発明の名称」、実用新案は「考案の名称」とし、意匠は「意匠に係る物品」、商標については、意匠及び商標を簡潔に表現する名称等を記入する					
	発明等の名称(英文)	発明等の名称(原文)の英文名称。 英文で記入する					
	発明者名(原文)	工業所有権の発明者等の氏名 カンマ区切りで複数名記入し、原文で記入する 特許は「発明者」、実用新案は「考案者」、意匠は「創作者」、商標については、商標の創作をした者を記入する					
	発明者名(英文)	発明者名(原文)の英文名称。 姓(last name)、名(first name)及びミドルネームがある場合はミドルネームのイニシャルをこの順で記載し、姓と名との間にコンマを打ち、名とミドルネームのイニシャルとの間はスペースで区切る。 また姓はすべて大文字で記し、複数名を記入する場合は人名をセミコロンで区切る。 当該組織に所属する発明者等については、氏名の後に(*)を付与する。					
	共同発明形態	発明の形態による区分 (学内単一組織、学内複数組織、学外組織) [学内単一組織] 発明者の全員が、当該組織が主たる所属先である場合 [学内複数組織] 発明者の中に、当該大学等の他組織が主たる所属先である者が含まれる場合 [学外組織] 発明者の中に、当該大学等外が主たる所属先である者が含まれる場合					
	持分比率	当該組織又はその設置者が保有する、実施権の持分(還元)比率					
	出願国	工業所有権を出願した国名					
	専門分野	工業所有権に関する専門分野 専門分野は、科研費又はNIAD独自のコードを利用し、複数登録を可能とする					
特許集計	発明者に当該組織の教員、学生、研究員、職員が含まれている特許の出願及び取得状況の集計情報。	国内外区分	特許の出願先による区分。 (国内、国外)	大学			

大項目:研究活動							
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル			
	発明者が本務として所属する組織単位で集計を行うが、発明者が複数名の場合には、代表者の所属する組織でカウントすることとする。複数の国に出願又は登録された特許は、出願件数及び取得件数のダブルカウントはしない。出願国が国内外を跨る場合の国内外区分は、「国外」とする。	出願人区分	特許の出願人による区分。 (大学長等、TLO、研究者個人・JST、企業単独) 【大学長等】【TLO】【研究者個人・JST】 企業などとの共同出願も含む。				
		出願件数	組織別、年度別、国内外別、出願人区分別の特許の出願件数。				
		取得件数	組織別、年度別、国内外別、出願人区分別の特許の取得件数。				
		国内外区分	特許の出願先による区分 (国内、国外)				
特許ライセンス契約	当該組織が権利を保有する特許のライセンス契約の締結状況の集計情報。 発明者が本務として所属する組織単位で集計を行うが、発明者が複数名の場合には、代表者の所属する組織でカウントすることとする。複数の国に出願・登録された特許に対しまとめてライセンス契約を締結した場合は、契約件数および金額のダブルカウントはしない(契約が出願国ごとに締結された場合は、契約件数および金額をそれぞれ加算する)。出願国が国内外を跨る場合の国内外区分は、「国外」とする。	出願人区分	特許の出願人による区分。 (大学長等、TLO) 大学長等、TLOには、企業などとの共同出願も含む。				
		契約件数	組織別、年度別、国内外別、出願人区分別の特許のライセンス契約件数。 ライセンス契約数には、当該組織が契約したもののみを含む。				
		契約収入	組織別、年度別、国内外別、出願人区分別の特許のライセンス契約収入。 ライセンス収入は当該年度内に、当該組織へ入金された金額のみを含み、教員個人等への収入は除く。				
		国内外区分	特許の出願先による区分 (国内、国外)				
科学研究費補助金受入集計	各組織の科学研究費補助金受入状況の集計情報。 科学研究補助金の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。	研究種目	文部科学省及び日本学術振興会において審査・交付される際の科学研究費補助金の研究種目。 種目により、新規と継続で区分する。 <科学研究費> (基盤研究(S)、基盤研究(A)、基盤研究(B)、基盤研究(C)、特別推進研究、特定領域研究、萌芽研究、若手研究(A)、若手研究(B)、特別研究促進費) <研究成果公開促進費> (学術定期刊行物、学術図書、データベース、研究成果公開発表(A)、研究成果公開発表(B)、研究成果公開発表(C)) <特定推奨費> <特別研究員奨励費> <地域連携推進研究費> <学術創成研究費>	学部・研究科			
		申請件数	組織別、年度別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の申請件数。				
		採択件数	組織別、年度別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の採択件数。				
		受入金額	組織別、年度別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。				
		間接経費	組織別、年度別、科学研究費補助金研究種目(新規・継続)別の科学研究費補助金の間接経費。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。				
		競争的外部資金受入集計	各組織の競争的外部資金の受入状況の集計情報。 競争的外部資金とは、政府機関等が公募する競争的資金であり、科学研究費補助金を除いたものである。 競争的外部資金の受け入れ先の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。		競争的外部資金区分	競争的外部資金の種類による区分。 <政府・自治体等の助成金> (21世紀COEプログラム、特色ある大学教育支援プログラム、科学技術振興調整費、科学技術振興機構による競争的資金制度、新エネルギー・産業技術総合開発機構、厚生労働科学研究費補助金、その他) <民間財団等からの助成金>	学部・研究科
		採択件数			組織別、年度別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の採択件数。		
		受入金額			組織別、年度別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。		
間接経費	組織別、年度別、競争的外部資金区分別の競争的外部資金の間接経費。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。						

大項目: 国際交流				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
留学生受入集計	各組織の留学生の国籍別の集計情報。	国籍	留学生の出身国(国籍)。	学部・研究科
		性別	留学生の性別。 (男、女)	
		留学生区分	留学生の区分。 (国費留学生・私費留学生・その他、正規・聴講生・科目等履修生・研究生・その他) 【国費留学生】 国費留学生制度により文部科学省から留学生給与を支給されている留学生。 【私費留学生】 国費留学生以外で、当該組織で行う留学生用の入学試験(私費外国人留学生特別選抜など)により入学を許可された者。 【その他】 上記以外のすべての外国人の学生。	
		留学生数	組織別、年度別、国籍別、性別、外国人学生区分別の外国人学生の人数。	
外国人研究者受入集計	各組織に所属する外国人研究者(本務教員、客員教員、博士研究員)の国籍別の集計情報。 研究者数は、特定の調査年月日(例えば5月1日)において在職(在籍)中の研究者を集計する。	国籍	外国人研究者の出身国(国籍)	学部・研究科
		性別	外国人研究者の性別 (男、女)	
		外国人研究者区分	外国人研究者の区分。 (本務教員、客員教員、研究員(博士研究員))	
		外国人研究者受入人数	年度別、組織別、出身国別、性別、外国人研究者区分別の外国人研究者の人数。	
留学生派遣集計	各組織に所属する学生の海外留学実施状況の集計情報。	留学先国	学生の留学先国	学部・研究科
		年次	学生が留学した時の年次	
		性別	派遣留学生の性別。 (男、女)	
		派遣留学生人数	年度別、課程別、留学先国別、年次別の海外留学生の派遣人数。	
教員海外派遣集計	各組織に所属する教員の海外派遣実施状況の集計情報。	派遣先国	教員の派遣先国	学部・研究科
		海外派遣人数	組織別、年度別、派遣先国別の教員の海外派遣人数。	
職員海外派遣集計	各組織に所属する職員の海外派遣実施状況の集計情報。	派遣先国	職員の派遣先国	大学
		海外派遣人数	組織別、年度別、派遣先国別の職員の海外派遣人数。	

大項目:社会貢献				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
公開講座実施 (検討中)	各組織で主催・開催した公開講座、講演会、展示会。	講演講座展示会名称	組織が主催した公開講座、講演会、展示会の名称	大学
		参加者数	組織が主催した公開講座、講演会、展示会の参加者人数	
		開催時間数	組織が主催した公開講座、講演会、展示会の総開催時間数。	
		期間始	講座の開始年月日	
		期間終	講座の終了年月日	

大項目(財務・産学連携)	中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
	損益計算書仕訳	組織の調査年度における損益計算書の仕訳。	仕訳金額	勘定科目の仕訳に対応する金額。	大学
	貸借対照表仕訳	組織の調査年度における貸借対照表の仕訳。	仕訳金額	勘定科目の仕訳に対応する金額。	
	勘定科目	損益計算書、貸借対照表の勘定科目の分類。 勘定科目は、文部科学省から提示される科目と同じとする。	科目階層	勘定科目の階層。 (第1階層～第4階層)	
			勘定科目名称	勘定科目の名称。	
			貸借区分	貸借の区別。 (貸方、借方)	
			B・S・P・L区分	損益計算書、貸借対照表の区別。	
			適用開始年月日	勘定科目の適用を開始した年月日。	
			適用終了年月日	勘定科目の適用を終了した年月日。	
	共同研究実施集計	各組織の共同研究(民間等との共同研究)の実施状況の集計情報。 共同研究の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。	相手先区分	共同研究の相手先による区分。(民間企業、政府機関、地方自治体、その他) 【政府機関】 独立行政法人等も含む。 【その他】 非営利団体や財団を含む。	学部・研究科
			受入件数	組織別、年度別、相手先別の共同研究の受入件数。	
			受入金額	組織別、年度別、相手先別の共同研究の受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。	
			共同研究員受入人数	組織別、年度別、相手先別の共同研究で受け入れた研究員の人数。	
	受託研究実施集計	各組織の受託研究の実施状況の集計情報。 受託研究とは、ある特定の目的のため外部組織から委託された調査・研究とし、政府出資金等の競争的な外部資金による研究は除く。但し、競争的な外部資金による研究を、外部組織から再委託されたものは受託研究に含めることとする。 受託研究の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。	相手先区分	受託研究の依頼元による区分(民間企業、政府機関、地方自治体、その他) 【政府機関】 独立行政法人等も含む。国以外の団体等で国からの補助金等を受け、その再委託により研究を受託していることが明確なものを含む。 【地方自治体】 地方自治体以外の団体等で地方自治体からの補助金等を受け、その再委託により研究を受託していることが明確なものを含む。 【その他】 非営利団体や財団を含む。	学部・研究科
			受託研究区分	受託研究の区分。 (一般受託研究、受託試験、病理組織検査、治験薬試験)	
			受入件数	組織別、年度別、相手先別、受託研究区分別の受託研究の受入件数。	
			受入金額	組織別、年度別、相手先別、受託研究区分別の受託研究の受入金額。 複数年度支給される場合には、当該年度において支給された金額のみを集計する。	
	受託研究員受入集計	各組織の受託研究員の受入状況の集計情報。 受託研究員の受け入れ先の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。	相手先区分	受託研究員の依頼元による区分(民間企業、政府機関、自治体、その他) 【政府機関】 独立行政法人等も含む。 【その他】 非営利団体や財団を含む。	学部・研究科
			受入人数	組織別、年度別、相手先別の受託研究員の受入人数。	
			受入金額	組織別、年度別、相手先別の受託研究員の受入金額。	
	寄附講座受入集計	各組織の寄附講座、寄附研究部門の受入状況の集計情報。 寄附講座・研究部門の受入先の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。 複数年に渡り寄附講座・研究部門を受け入れている場合、集計対象の年度において受け入れている設置数および金額を対象とする。	相手先区分	寄附講座もしくは研究部門の受入相手先による区分。(民間企業、政府機関、地方自治体、個人、その他) 【政府機関】 独立行政法人等も含む。 【その他】 非営利団体や財団を含む。	大学
			寄附講座・研究部門受入設置数	組織別、調査年度別、寄附講座受入相手先区分別の寄附講座もしくは研究部門の受入設置数。	
			寄附講座・研究部門受入金額	組織別、調査年度別、寄附講座受入相手先区分別の寄附講座もしくは研究部門の受入金額。	
	寄附金受入集計	各組織の奨学寄附金の受入状況の集計情報。 奨学寄附金の受入先の代表者の教員が所属する組織(複数に所属する場合は本務)を集計対象とする。 実験装置、物品、動産、不動産および無体財産等による寄附は除く。	相手先区分	奨学寄附金の受入相手先による区分。(民間企業、政府機関、地方自治体、個人、その他) 【政府機関】 独立行政法人等も含む。 【その他】 非営利団体や財団を含む。	
			奨学寄附金受入件数	組織別、年度別、相手先区分別の奨学寄附金の受入件数。	
			奨学寄附金受入金額	組織別、年度別、相手先区分別の奨学寄附金の受入金額。	

大項目: 評価改善活動				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
自己点検評価	組織において実施した自己点検評価の情報。	被評価組織名		大学 学部・研究科 学科・専攻
		評価実施体制	評価を実施した際の体制。	
		外部評価者数	自己点検評価を行った学外の評価者数。(外国人を含める)	
		外国人数	自己点検評価を行った学外の評価者のうち外国人の数。	
第三者評価	組織において実施した第三者評価の情報。	評価時期	自己点検評価の対象となった期間。	大学 学部・研究科 学科・専攻
		被評価組織名		
		評価機関名	評価を実施した機関の名称 (NIAD-UE、大学基準協会、ISO、JABEEなど)	
評価改善活動	各組織の評価改善活動状況を示す情報。 (学生の卒業・修了後の追跡調査、FD活動、外部評価、自己評価、授業評価の実施状況など)	評価時期	第三者評価の対象となった期間。	学部・研究科
		活動区分	評価改善活動による区分。 <組織運営> 事務支援体制の効率化、SD活動、恒常的評価体制、委員会組織の見直し、人事制度の見直し、予算制度の見直し、労働環境の見直し <教育活動> 学生の卒業・修了後の追跡調査、教育プログラムの工夫、FD活動、授業評価、優れた教育への報奨制度など <研究活動> サバティカル制度など	
		活動タイトル	評価改善活動の内容を表現する活動のタイトルを記述する。	
		評価改善活動内容・実績	評価改善活動の具体的な内容及び成果を示す実績を記述。	
		評価改善活動時期	評価活動を実施した時期を記述する。	

大項目:その他				
中項目	中項目の定義	小項目	小項目の定義	組織対象レベル
文書	各組織が保有する規約や冊子などの文書情報。 以下に例を示す。 【組織・施設】 大学案内、学部・研究科案内、センター案内、教職員募集要項など 【学生募集】 アドミッションポリシー、学生募集要項など 【教育活動】 シラバス、学生便覧、授業時間割表、成績評価審査規定、学位論文審査規定など 【研究活動】 研究紀要など 【国際交流】 留学生向け募集要項、留学案内など 【社会貢献】 刊行物、審議会等報告書など 【評価改善活動】 外部評価報告書、自己評価報告書など	カテゴリ	文書内容の属するカテゴリ。 (組織・施設、学生募集、教育活動、研究活動、社会貢献活動、国際交流活動、産学連携活動、学生支援活動、評価改善活動、財務など)	
		タイトル ファイル名	文書の題名 文書ファイルの名称	